



3月定例会より

継続審査となっていた陳情書2件と、今定例会に提出された陳情書6件を審査した結果、5件を採択、1件を継続審査としました。

森林・林業基本計画の具体化と新たな政策・予算措置を求める陳情書

要旨 森林・林業・木材産業の推進を図るためには、地球温暖化対策推進大綱等と一体となった林業労働力の確保が重要であるため。

陳情者 全林野北森森林管理署分会執行委員長 原田典光

【採択】

理由 森林資源育成のための森林施行に向け、補助事業の拡大、新たな森林整備への支援策を講ずることが急務であるため。

〔発議第2号で意見書を内閣総理大臣等に提出〕

国産材政策に関する陳情書

要旨 輸入外材の急増等に伴う国産材需用の減退・木材生産コストの増大等による採算性の悪化から、林業生産活動は停滞し、林業経営は極めて厳しい環境下に置かれている。

陳情者 鹿児島県森林組合連合会代表理事副会長 川野正雄他2人

【採択】

理由 林業経営意欲の減退や林業経営基盤の弱体化が強く懸念されており、森林・林業の将来が展望できない政策の確立が必要のため。〔発議第3号で意見書を内閣総理大臣等に提出〕

義務教育費国庫負担制度堅持に関する陳情書

要旨 教職員の給与等を国庫負担制度から適用除外等の制度見直しを行わない。

陳情者 川薩地区学校事務職員研究協議会会長 馬場安弘

道路整備の促進
道路財源の確保

意見書を提出

内閣総理大臣ほか5大臣に

道路特定財源は、受益者負担の原則に則り用途拡大や一般財源などに転用することなく、高速道路や空港、公共公益施設へのアクセス道路の整備と生活関連道路の整備を求める市民の声は切実なもので、道路網の整備は必要かつ不可欠であることから、内閣総理大臣ほか5大臣に意見書を提出するものであります。以下、意見書の抜粋を掲載します。

- 1 国土の均衡ある発展及び活力ある地域づくりと豊かな暮らしづくりを支援するため、高規格幹線道路から市町村道に至る道路網の整備を一層推進すること。
- 2 道路整備を円滑に進めるための財源である揮発油税や自動車取得税等を他に転用することなく、道路整備における道路特定財源として確保すること。
- 3 道路整備を計画的かつ着実に進めるため、平成15年度を初年度とする新たな長期計画を策定すること。

以上のとおり提出するものであります。

平成14年6月28日 鶴田町議会議長

告から3年を経過しようとして

しているが、いまだに実施時期すら決定されていない。

陳情者 鹿児島県医療労働組合連合会執行委員長 堅山清隆

【採択】

理由 一刻も早く移行教育の実施時期を明確にすること、希望者全員の受講を保障する計画の策定と支援措置を行うことが急務であるため。〔発議第5号で意見書を内閣総理大臣等に提出〕

准看護師から看護師への移行教育の早期開始を求める陳情書

要旨 移行教育検討会の報告

見書を内閣総理大臣等に提出

害時等に必要であるため。

陳情者 種子田自治公民館長 鶴森憲司他1人

【採択】

理由 住宅集合地で自主防災組織も結成され、用地等も同意がされており、災害時等に必要であるため。

消防車両の進入路建設に対する陳情書

要旨 柏原区種子田集落の種子田橋麓に消防車両が入り込める専用路の建設。

編集
後記

今年の梅雨は降雨量が少なく、大きな災害は発生しませんでした。これから本格的な台風到来の季節となります。皆様とともに日々防災に心掛け、災害のないことを祈るところです。

市町村合併問題の集落説明会も終了し、二回目の合併調査特別委員会を開催しました。委員会は、町の特性を生かした町民の暮らしやすい環境づくりを重視し、町のあるべき姿や発展について議論しているところです。

今回の議会だよりは、6月定例会の状況を中心に編集しました。ご意見等ありましたら議会事務局までお寄せください。

平成14年7月

- 発行責任者 東 哲雄
編集委員長 中尾正男
副委員長 四位芳彦
編集委員 橋之口淳一
編集委員 下大迫幸太郎
編集委員 高 嶺実樹
編集委員 水 流 克 男